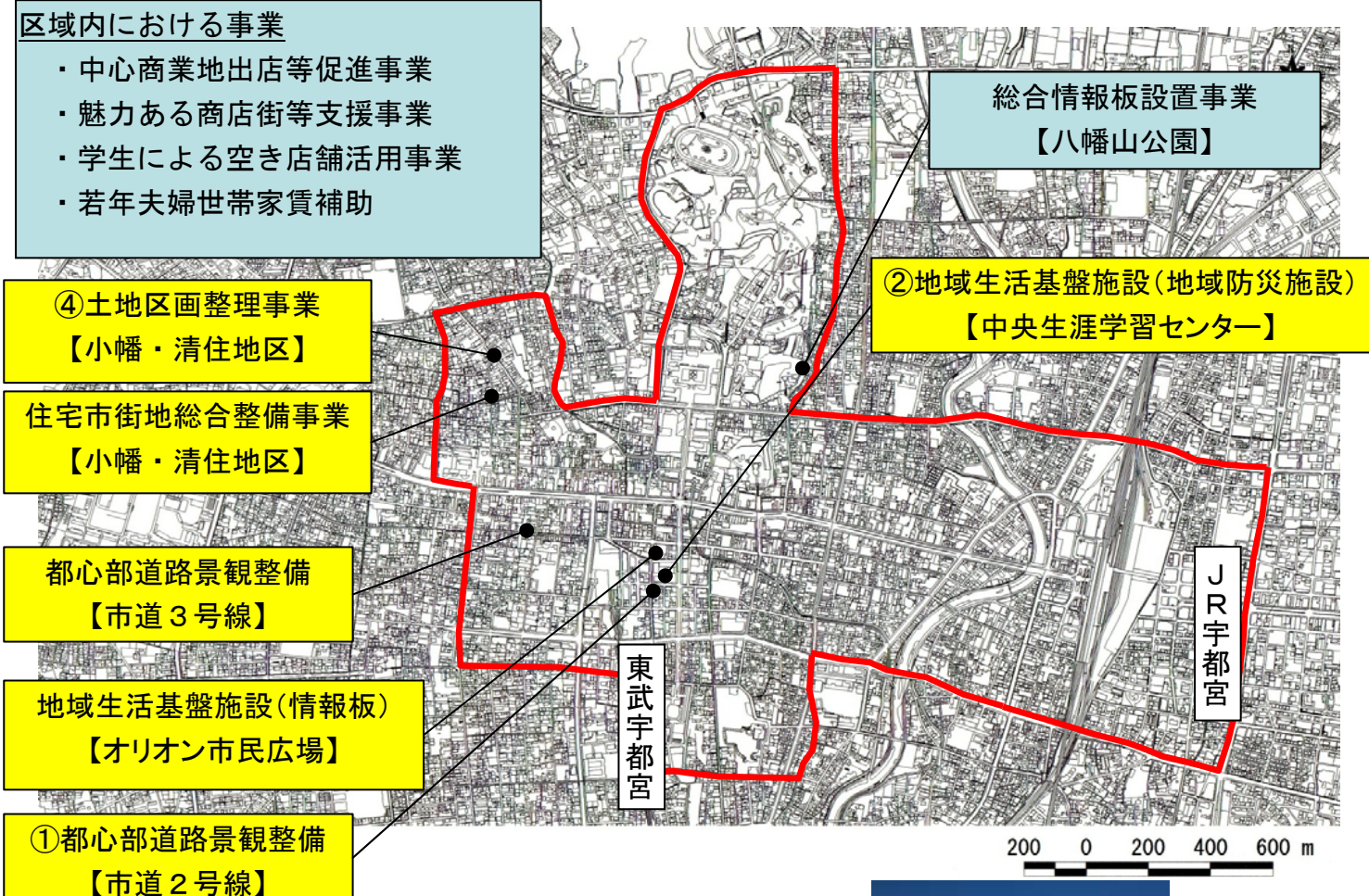


# 都市再生整備計画（宇都宮都市拠点地区）の概要

本市の中心市街地は、古くから二荒山神社の門前町や宇都宮城の城下町として栄え、長い歴史の中で伝統や文化を育むとともに、近年においては、商業や業務、居住などの都市機能が集積するなど、栃木県の政治・経済・文化の中心として発展してきた。しかしながら、大規模集客施設の郊外移転や人口の郊外部への転出などによって、都市機能が拡散し、県都・宇都宮の顔である中心市街地の衰退が進んでいる。

これまで、「宇都宮市中心市街地活性化基本計画」（平成11年策定）や本市中心市街地のまちづくりの指針である「都心部グランドデザイン」（平成14年策定）に基づき、交流拠点となる広場空間の整備、市街地再開発事業や都心部道路景観整備等を実施し、都市の骨格構造づくりを進めるとともに、中心商店街の活性化を図るため、空き店舗への出店等促進を支援し、また、商店街等においてもイベント等を積極的に開催するなど、賑わい創出を図ってきた。

本地区は、平成17年度から平成21年度に、まちづくり交付金（第一期）を活用し、地区の課題解決に対し一定の成果をあげることができた。また、宇都宮中央地区まちづくり交付金評価委員会においても、まちづくり交付金の活用による事業効果を高く評価されたところであり、新たな中心市街地活性化基本計画に基づき、まちづくり交付金（第二期）を活用した事業推進を行うものである。



## (1) 計画概要

【地区名】宇都宮都市拠点地区  
 【面積】327ヘクタール  
 【交付期間】平成22年度～平成25年度  
 【交付対象事業費】約17億円（国費率40.0%）  
 【区域】馬場通り1～4丁目、駅前通り1～3丁目、大通り1～5丁目

## (2) まちづくりの目標

【大目標】  
 宇都宮ならではの「楽しさ」を味わう中心市街地 ～ 市民が愛する・誇れるまちなかへ ～

【小目標】  
 商業地が様々な顔を持つ賑わいのあるまち ～集客～  
 様々な人々が行き交うまち ～回遊～  
 便利で快適な住みたいまち ～居住～

## (3) 事業

【道路】都心部道路景観整備事業（市道2号線、市道3号線）  
 【地域生活基盤施設】地域防災施設（中央生涯学習センター）、情報板（オリオン市民広場）  
 【土地区画整理事業】緊急防災空地整備事業（小幡・清住地区）  
 【住宅市街地総合整備事業】密集住宅市街地整備型（小幡清住地区）  
 【地域創造支援事業】中心商業地出店等促進事業、魅力ある商店街等支援事業、空き店舗活用事業、都心部居住推進事業、総合情報板設置事業（八幡山公園）



①都心部道路景観整備【市道2号線】



②地域生活基盤施設【中央生涯学習センター】



③地域生活基盤施設【オリオン市民広場】



④土地区画整理事業【小幡・清住地区】